

 最大震度 6強	 全壊 15,435棟	 死者 3,931人
 浸水面積 112km ²	 半壊 82,783棟	 行方不明者 224人
 最大浸水深 21.1m(富岡町)	 一部損壊 141,054棟	 負傷者 183人

復興・再生のあゆみ

原発事故をあらためて知る

福島県には大熊町・双葉町にまたがる東京電力福島第一原発、楡葉町・富岡町にまたがる東京電力福島第二原発の2カ所の原発があります。地震直後に第一・第二原発ともに原子炉は自動停止。第一原発においては外部電源を喪失し、その後押し寄せた巨大津波により非常用電源を含む全交流電源を喪失しました。原子炉を冷却する機能を失った第一原発の1～3号機は、燃料が露出し事態はさらに悪化。炉心損傷や溶融により放射性物質が放出され、大量に発生した水蒸気などにより格納容器の内圧が上昇。そして3月12日に1号機、3月14日に3号機が水素爆発を起こしました。さらに3月15日には、地震発生時に定期点検のため運転を停止していた4号機でも、3号機から流入した水素により水素爆発が発生。これは昭和61年(1986)のチェルノブイリ原子力発電所事故に並ぶ、世界でも最も深刻なレベルの原発事故となったのです。



●発災2日後の3月13日に病院から避難のため搬送される患者たち

●2011年6月に南相馬市の沿岸部で防護服を着て行われた集中捜索



●除染作業の様子

順次解除が進む避難指示区域のいま

避難者は平成24年(2012)5月の16万4865人をピークに減少し、2022年12月現在は約2万7000人の方が避難を続けています。避難指示区域は順次解除が進み、帰還困難区域においても特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、復興・再生が進められています。



過去の解除・再編状況

- 2014年**
 - 4月1日…田村市/避難指示解除準備区域解除
 - 10月1日…川内村/避難指示解除準備区域解除、居住制限区域を避難指示解除準備区域に再編
- 2015年**
 - 9月5日…楡葉町/避難指示解除準備区域解除
- 2016年**
 - 6月12日…葛尾村/居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
 - 6月14日…川内村/避難指示解除準備区域解除
 - 7月12日…南相馬市/居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
- 2017年**
 - 3月31日…川俣町・浪江町・飯館村/居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
 - 4月1日…富岡町/居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
- 2019年**
 - 4月10日…大熊町/居住制限区域及び避難指示解除準備区域解除
- 2020年**
 - 3月4日…双葉町/避難指示解除準備区域及び帰還困難区域のうち双葉駅周辺解除
 - 3月5日…大熊町/帰還困難区域のうち大野駅周辺解除
 - 3月10日…富岡町/帰還困難区域のうち夜ノ森駅周辺解除
- 2022年**
 - 6月12日…葛尾村/特定復興再生拠点区域避難指示解除
 - 6月30日…大熊町/特定復興再生拠点区域避難指示解除
 - 8月30日…双葉町/特定復興再生拠点区域避難指示解除

※参考・引用資料
 ●ふくしま復興のあゆみ第31.2版,令和4年12月27日発行,新生ふくしま復興推進本部
 ●「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による各地の震度,平成24年12月,気象庁
 ●津波による浸水範囲の面積(概略値)について(第5報),平成23年4月18日,国土地理院
 ●津波痕跡データベース,東北大学災害科学国際研究所
 ●東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループによる現地調査結果
 ●平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第162報 別紙),令和4年3月8日(火)14時00分,消防庁災害対策本部
 ●東日本大震災の記録と復興への歩み,平成25年3月発行,福島県
 ●東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会 報告,平成23年9月28日,中央防災会議
 ●東日本大震災・原子力災害伝承館ガイドブック(東日本大震災・原子力災害伝承館)

地震・津波被害に加え、東京電力福島第一原発が水素爆発を起こし、世界でも類を見ない複合災害を経験した福島県。とくに原子力災害では多くの避難者を生み、さらに放射線汚染にともなう風評被害までもが発生。今までに経験したことの無い長期の避難や健康不安などによる苦痛への対応といった幅広い対策が必要となり、いまだ復興・再生の道半ばにあります。

しかし除染作業や懸命な復旧作業が行われ、県内の面的除染は帰還困難区域を除き平成30年(2018)に完了。避難指示区域は順次解除が進み、いまだ残る帰還困難区域においても特定復興再生拠点区域(一部の避難指示を解除し、居住を可能とすることを目指す区域)が定められました。現在は復興(災害)公営住宅が整備されるなど住民の帰還に向けた動きが加速しています。



1 浪江町戸を襲った津波で町は壊滅状態に 2 いわき市久之浜地区も津波被害を受け、火災も発生した 3 相馬市相馬港周辺。ここでも火災の様子が見取れる 4 東京電力福島第一原発。構内はがれきの山となり炉心が溶融する事態に 5 須賀川市吉美根地区。道路は陥没して通行不能になった 6 須賀川市八幡町。建物物が座屈して危険な状態に 7 南相馬市や相馬市も津波に見舞われ、なぎ倒された木々やがれきが散乱した 8 南相馬市～相馬市付近。巨大な波は堤防を乗り越え町を飲み込んだ
 ※写真提供: 福島県

あの日何が起きたのか…